



朝の楽しみと、幼小連携の意義

校長 間嶋 哲

私の朝の日課は、校門のところで子ども達と挨拶を交わすことです。土田用務員さんと二人でやっています。私たちは、この活動を楽しんでいます。決して、あいさつを良くするためだけにやっているわけではありません。もちろん結果的には、あいさつの力も伸びているように思います。子どもによっては、まだまだ眠たい朝なので、当然、元気のない子どももいます。目やにがついていて、明らかに顔を洗っていないなあとと思う子どももいます。いろいろな子どもの表情を見ること、言葉を交わすことが、私にとっては大切な1日の始まりなのです。「あいさつのシャワー」をなるべく自然に振りまき、笑顔で出迎えることが、子どもにとっても良い1日の始まりにつながってくれば良いなあと願っています。

土田用務員さんと他愛もない話をする中で、いつも話題に上ることが子どもの成長です。泣きながら保護者の方と登校していた低学年の子どもが、そのうち、何食わぬ顔で友達と談笑しながら登校してくることもよくあることです。あいさつの仕方のレベルが、昨年度より、ぐんと伸びる子どももいます。そのような成長を間近で感じられる喜びは、何にも代えられません。子どもたちから、毎日パワーをもらっています。

私は、同じ敷地内にある新津第一幼稚園の園長も兼務しています。幼稚園では数年前から他のこども園等と交流をしています。現在では9園を数えるまでになりました。先日は、新津第一幼稚園の10名の年長組に加え、認定こども園あおぞらの園児16名にも来校してもらい、1年生と交流会をしました。1年生にとっては、新しく後輩が入ってくる期待感をもたせ、「いよいよ2年生になるのだ」という意識をもたせるねらいがあります。

もちろん、園児にとっても、小学校の授業を少しでも体験することで、小学校に対する期待感や安心感をもってもらうねらいもあります。チャイムの音に驚いていた園児もいました。

お互いにウィンウィンの関係です。

当校では、もみじ班という異学年縦割り班があり、一小祭でも一緒に行動しました。1年生にとっては、お兄さんお姉さん気分を久しぶりに味わえたひとときとなったのではないかと思います。



各学年の様子

第1学年「だあいすき 1年生」

1学年主任 古川 智子

入学して半年が経ち、学校にも慣れ、いろいろなことができるようになりました。ひらがなや漢字、たし算、ひき算ができるようになったのはもちろんのこと、友達と仲良く協力して活動することが上手になってきました。学年や学級みんなが気持ちよく過ごすために、学校のルールをしっかり守ろうと頑張っています。いろいろなことに興味をもち、目を輝かせてチャレンジする1年生。「だあいすき」なことがいっぱい増えていくようにこれからも取り組んでいきます。



10月に入って、一小校区の子ども園の年長児さんとの交流を行っています。来年には新しい1年生が入学し、自分たちがお兄さんお姉さんのお手本として優しく教えてあげられるように、張り切っています！

第3学年「にこにこスマイル学年集会」

3学年主任 大倉 佳代子

中学年の仲間入りをした3年生は、学級だけでなく学年としての団結力を高め、仲間と共に楽しい学校生活をつくっていきこうと、月一回「にこにこスマイル学年集会」を開いています。集会の企画・運営は、学級委員が行います。一年間で全員が学級委員を経験することとし、現在、5代目まで進みました。集会では、学級委員が学年のいい所や自分の成長を語ったり、お楽しみミニゲームで遊んだり、学年の絆がどんどん深まってきています。



第5学年「高学年にステップアップ」

5学年主任 山田 啓太郎

5年生は、クラス替えがありましたが、すぐに仲良くなり、楽しく学習や諸活動に取り組んでいます。新たに始まった委員会活動にも意欲的に取り組んでいます。

6月末の胎内自然教室では、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、カヌー、野外炊事などのアウトドア活動を楽しみました。この経験を通し自然の素晴らしさと協力の大切さを学ぶことができました。また、10月には就学時検診の手伝いがありました。自分の係の仕事を通して、未就学児とかかわり、責任感とリーダーシップが育まれました。



これからは、来年度6年生として全校のリーダーになれるように、さらに成長していきます。5年生の活躍にご期待ください。